

成果の説明書

(氏名) 吉武信彦	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>以下の研究活動を行った。</p> <p>(1) 論文</p> <ul style="list-style-type: none">・単著、「ノーベル賞の国際政治学—ノーベル文学賞と日本、三島由紀夫をめぐる推薦と選考 1963～1968年」、『地域政策研究』(高崎経済大学) 第25巻第4号、2023年3月、39～54頁。 <p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none">・共訳、「第3章 文脈の中のブリュッセル効果」アニュ・ブラッドフォード『ブリュッセル効果 EUの覇権戦略—いかに世界を支配しているのか』庄司克宏監訳、白水社、2022年5月、111～142頁。・共同執筆、「第8章第5節 戦後冷戦と北欧—戦後処理」、「第9章第3節 1970～80年代の北欧—北欧の経済的地位、『ポスト福祉』の政治と社会」、「第9章第4節 欧州統合と北欧—EU加盟問題と北欧、各国内政の動き」、百瀬宏、熊野聰、村井誠人編『北欧史(山川セレクション)』下、山川出版社、2022年8月、127～131、168～170、171～173、180～184、189～191頁(同編『北欧史(新版世界各国史第21巻)』山川出版社、1998年の改訂版に伴う再録)。・単著、エッセー、「<世界の街角から>デンマークから グリーンランドの夏」『改革者』(政策研究フォーラム) 第745号、2022年8月、47頁。・単著、エッセー、「ロシアのウクライナ侵攻と北欧諸国—EU、NATOをめぐる政策転換の背景と今後」『改革者』(政策研究フォーラム) 第745号、2022年10月、22～25頁。・司会、「企画セッション デンマークにおけるイノベーティブな福祉国家」、北ヨーロッパ学会2022年度研究大会、明治大学中野キャンパス、対面・オンラインハイブリッド開催、2022年11月5日。	
<p>2 その他の事項</p> <p>特になし。</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>コロナ禍の行方次第であるが、海外での調査を再開し、研究を深化させたい。また、教育においても安全かつ効果的な対面講義を工夫したい。</p>	